

◇◇◇・・同窓会設立10周年を盛大に祝う・・◇◇◇



気仙沼・本吉校は平成11年3月、1期生35名によって同窓会が設立されてから10年の節目を迎えました。

多くの会員から、「名実ともに地域から認められる組織になった今、これまで10年の成果と反省を踏まえ、今後さらに充実した社会貢献活動を行うためにも一つの区切りとして記念事業を実施しては…」との声が上がりました。

役員会を経て、7月に実行委員会を立ち上げ、準備に取りかかりました。

事業の内容は「記念誌の発行、記念式典・記念講演・祝賀会の実施」とし、それぞれに責任者を配置して細部にわたっての検討がなされました。

記念誌は10回に及び編集委員会を経て、同窓会の沿革、歴代教授からの寄稿、各期生会や現役学園生の活動状況、歴代会長による座談会に会則や会員名簿等を加えました。編集や印刷・製本は全て会員の手作りとして経費を節約、式典会場で全会員(300名)に配布しました。

2月20日に実施した記念式典は、200名の会員の他に来賓として、気仙沼市長、気仙沼中央公民館長、宮城県社会福祉協議会長、いきがい健康課長、歴代教授のご臨席のもと盛大な式典となりました。

暗中模索の草創期の初代会長から二代目、三代目とご苦勞の多かった歴代会長に対し感謝状を贈呈し、全会員で感謝の意を表しました。

式典終了後の記念講演では、元教授で現在宮城県教育委員会委員である小野寺征人氏を講師に「老楽力(おいらくりょく)」の演題で高齢化を取り巻く環境や高齢社会の課題について講演をいただきましたが、これから先いかに健康で豊かな老いを迎えるか等考えさせられる1時間になりました。

引き続き行われた祝賀会は、花柳流の祝舞いでスタート、各期生会毎に準備してきた歌や踊り、レクダンス等で大いに盛り上がりました。

福祉施設等で歌や踊りの訪問交流を行っている期生会がほとんどで、出し物に事欠くことはありません。また、飲むほどに酔うほどに会員同士の会話も一層弾み、2時間があっという間に過ぎていきました。

祝賀会の締めくくりは、恒例になっている「これから音頭」の踊りです。会場いっぱいの大きな輪が、仲間との絆の強さを物語っているようです。

「いきいき学園での出会いに感謝したい」満面の笑みが会場に溢れていました。